

2024 ゴールボールタッチキャラバン（滋賀） 事業実施報告書

1 期 日：2025 年 3 月 1 日(土) 12 時～14 時

2 会 場：滋賀ダイハツアリーナ

3 スタッフ：8 名 西村、赤渕、滋賀県ゴールボール協会 4 名

4 内 容：

この日、滋賀ダイハツアリーナで B リーグ公式戦・滋賀レイクス VS 名古屋イーグルふあいターズ戦が「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポプレゼンツ」として行われ、会場にて各種パラスポーツ体験ブースが開かれたので、ゴールボールタッチキャラバンを開催した。

会場は 4200 名超の観客が集まり、各種パラスポーツに触れる絶好の機会となった。ゴールボールブースにも 300 名を超える方々が訪れ、想像以上に重いボールや、装着すると何も見えないアイシェードに驚き、多くの質問などもいただいた。

5 所 感：

4200 名を超える観客が集まる B リーグ公式戦。予想以上にゴールボールをテレビや各種報道で知っている人が多く、「見えない選手は方向をどうして知るのか?」とか、「チームメイトとぶつかったりしないのか?」、「ボールは痛くないのか?」など、具体的な質問をされる方が多く、感心を持っている方が多かった。やはり、昨夏のパリパラリンピックでゴールボール競技が多く放映されたことの意義は大きかったと感じる。

この取り組みは、「こちらから出かける」というスタイルであり、まずはゴールボールの認知度を高める観点からも、かなり有効だと感じた。また、今回は YouTube に挙がっている動画をエンドレスで放映し続けたことで、立ち止まって見る人も多く、来場者の関心を引いたようだ。

6 成果と課題：

そもそもスポーツが好きな方々がよく集まる会場ではあったが、2025 年に滋賀県で開かれる国スポ・障スポの啓発イベントとコラボできた意義は大きく、各種関係機関との連携も重要だと感じた。

今後の課題として、開催地のゴールボール関係者の協力を取り付けることも大切だと感じた。

【ゴールボールタッチキャラバンは JKA 助成事業を受けて実施しております。】



【タッチキャラバン会場の様子】

